

(イ) 環境振動

a. 調査地点及び調査日時

調査地点は、図 8.1.1-1(2) (57 ページ参照) に示すとおり、将来の鉄道構造、土地利用状況等を考慮して選定した。調査日は、表 8.1.1-3 に示すとおりである。

表 8.1.1-3 調査地点及び調査日時（環境振動）

地点番号	調査地点	用途地域	地域の類型	調査日時
E-1	杉並区上井草一丁目 29 番付近	第一種中高層住居専用地域	第 1 種	令和元年 5 月 8 日（水） 6：00～ 令和元年 5 月 9 日（木） 6：00
E-2	練馬区上石神井二丁目 11 番付近	第一種低層住居専用地域	第 1 種	
E-3	練馬区上石神井四丁目 11 番付近	第一種低層住居専用地域	第 1 種	
E-4	練馬区関町北四丁目 16 番付近	第一種低層住居専用地域	第 1 種	
E-5	西東京市富士町五丁目 7 番 11 付近	第一種低層住居専用地域	第 1 種	

※ 第 1 種：第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、無指定地域(第二種区域に該当する区域を除く。)

第 2 種：近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域、前各号に掲げる地域に接する地先及び水面

b. 測定方法

環境振動の測定は、「振動規制法施行規則」(昭和 51 年 11 月 総理府令第 58 号) 及び「振動レベル測定方法」(JIS Z 8735：1981) に準拠して行った。

また、測定結果より 80%レンジ上端値 (L_{10}) ※を算出した。

※80%レンジ上端値 (L_{10})：全ての測定値を大きさの順に並び替えた際、大きいほうから 10%目に該当する数値のこと。

(ウ) 鉄道騒音

a. 調査地点及び調査日

調査地点は、表 8.1.1-4 及び図 8.1.1-1(1) (56 ページ参照) に示すとおり、将来の鉄道構造、土地利用状況等を考慮して選定した。

鉄道騒音の測定は、R-1～R-9 の 9 測線について、計画線最寄り軌道中心から原則として、水平方向に 6.25m、12.5m、25m、50m 及び 100m、地上からの高さが 1.2m の位置で行った。

調査日は、表 8.1.1-4 に示すとおりである。

表 8.1.1-4 調査地点及び調査日（鉄道騒音）

調査地点			調査日
測線	住所	上下別	
R-1	杉並区上井草二丁目 40 番付近	下り線側	平成 31 年 4 月 19 日（金）
R-2	杉並区井草五丁目 6 番付近	上り線側	平成 31 年 4 月 19 日（金）
R-3	練馬区上石神井二丁目 1 番付近	上り線側	平成 31 年 4 月 18 日（木）
R-4	練馬区上石神井四丁目 12 番付近	上り線側	平成 31 年 4 月 16 日（火）
R-5	練馬区関町東一丁目 4 番付近	下り線側	平成 31 年 4 月 18 日（木）
R-6	練馬区関町北三丁目 37 番付近	下り線側	平成 31 年 4 月 22 日（月）
R-7	練馬区関町北四丁目 19 番付近	上り線側	平成 31 年 4 月 22 日（月）
R-8	西東京市富士町五丁目 7 番付近	上り線側	平成 31 年 4 月 17 日（水）
R-9	西東京市東伏見二丁目 13 番付近	下り線側	平成 31 年 4 月 17 日（水）

b. 測定方法

鉄道騒音の測定は、「在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針について」（平成7年12月 環大一第174号）に定める方法に準拠して行った。

騒音レベルの測定は、「計量法」（平成4年法律第51号）第71条の条件に合格した騒音計（JIS C 1509-1：2005）を用いて行った。

等価騒音レベルは、「在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針について」の評価方法に準じ、列車の単発騒音暴露レベル（ L_{AE} ）※の測定結果を基に、時間帯ごとの列車本数を乗じて算出した。

測定対象の列車に関しては、通過時刻、列車種別、型式、車両数及び列車速度について観測を行った。列車速度は、調査地点付近において通過列車の先頭と最後尾の通過所要時間を計測し、列車長から算出した。

また、測定する列車本数については、「ちょうせい第5号」（平成8年度 総務省公害等調整委員会）の資料によると「全列車の10%~20%程度を測定すれば±1dBの誤差で L_{Aeq} を推定することが可能である」とされていることから、今回、全列車（636本）の約20%（130本）を測定列車本数と設定した。（上記の測定列車本数の妥当性を検証するため、R-4の計画線最寄り軌道中心から水平方向に12.5m、高さが1.2mの地点において全列車測定を行い、始発から終電までの全データで求めた等価騒音レベルと任意の時間帯に測定したデータから求めた等価騒音レベルの比較を行った【資料編147~163ページ参照】）。

なお、測定時間は、朝のラッシュ時間帯における速度低下等を考慮し、平均的な運行状況となるおおむね午前9時以降とした。

※単発騒音暴露レベル（ L_{AE} ）：単発的に発生する騒音の1回の発生ごとのエネルギーと等しいエネルギーを持つ継続時間1秒の定常音の騒音レベルであり、1列車が通過した際に測定される騒音のエネルギー量のこと。

(I) 鉄道振動

a. 調査地点及び調査日

調査地点は、表 8.1.1-5 及び図 8.1.1-1(2) (57 ページ参照) に示すとおりであり、将来の鉄道構造、土地利用状況等を考慮して選定した。

鉄道振動の測定は、V-1 ～V-9 までの 9 測線について、計画線最寄り軌道中心から原則として、水平方向に 6.25m、12.5m、25m 及び 50m の地盤面で行った。

調査日は、表 8.1.1-5 に示すとおりである。

表 8.1.1-5 調査地点及び調査日（鉄道振動）

調査地点			調査日
測線	住所	上下別	
V-1	杉並区上井草二丁目 40 番付近	下り線側	平成 31 年 4 月 19 日（金）
V-2	杉並区井草五丁目 6 番付近	上り線側	平成 31 年 4 月 19 日（金）
V-3	練馬区上石神井二丁目 1 番付近	上り線側	平成 31 年 4 月 18 日（木）
V-4	練馬区上石神井四丁目 12 番付近	上り線側	平成 31 年 4 月 16 日（火）
V-5	練馬区関町東一丁目 4 番付近	下り線側	平成 31 年 4 月 18 日（木）
V-6	練馬区関町北三丁目 37 番付近	下り線側	平成 31 年 4 月 22 日（月）
V-7	練馬区関町北四丁目 19 番付近	上り線側	平成 31 年 4 月 22 日（月）
V-8	西東京市富士町五丁目 7 番付近	上り線側	平成 31 年 4 月 17 日（水）
V-9	西東京市東伏見二丁目 13 番付近	下り線側	平成 31 年 4 月 17 日（水）

b. 測定方法

鉄道振動の測定は、「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について（勧告）」（昭和 51 年 3 月 環大特 32 号）に準拠して行った。

ピーク振動レベル（ L_{Vmax} ）の測定は、「計量法」第 71 条の条件に合格した振動レベル計（JIS C 1510：1995）を用いて行った。

測定対象の列車に関しては、鉄道騒音と同様に通過時刻、列車種別、型式、車両数及び列車速度について観測を行った。

測定結果から、測定列車の上位半数の算術平均を算出した。

※ピーク振動レベル（ L_{Vmax} ）：全ての測定値を大きさの順に並び替えた際、
大きい方からの上位半数を算術平均した数値のこと。

(4) 調査結果

ア 騒音・振動の状況

(7) 既存資料調査

a. 鉄道騒音

事業区間周辺における鉄道騒音の測定結果は、表 8.1.1-6 に示すとおりである。

平成 27 年度の測定結果は、西武新宿線のコンクリート桁区間において、最寄り軌道中心からの水平距離 12.5m の地点で 58.1 dB、25m の地点で 55.4 dB、西武新宿線の平地区間において、最寄り軌道中心からの水平距離 12.5m の地点で 61.7 dB～66.7 dB、25m の地点で 57.4 dB であった。

平成 29 年度の測定結果は、西武新宿線の盛土区間において、最寄り軌道中心からの水平距離 12.5m の地点で 61.0 dB、25m の地点で 63.7 dB、西武新宿線の平地区間において、最寄り軌道中心からの水平距離 12.5m の地点で 68.4 dB であった。

表 8.1.1-6 (参考) 在来線の鉄道騒音測定結果 (平成 26 年度～平成 30 年度)

調査 年度	路線名 (線路構造)	測定地点 (用途地域)	最寄り軌道中心 からの水平距離 (m)	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (昼間) (dB)
平成 27年度	西武新宿線 (コンクリート桁)	西東京市南町一丁目 1 番地先 (第一種中高層住居専用地域)	12.5	58.1
			25	55.4
	西武新宿線 (平地)	西東京市田無町四丁目 9 番地先 (第一種住居地域)	12.5	61.7
			25	57.4
	西武新宿線 (平地)	杉並区井草二丁目 1 番地先 (第二種中高層住居専用地域)	12.5	66.7
平成 29年度	西武新宿線 (盛土)	西東京市南町一丁目 3 番地先 (第一種低層住居専用地域)	12.5	61.0
			25	63.7
	西武新宿線 (平地)	杉並区上井草一丁目32番地先 (近隣商業地域)	12.5	68.4

出典：「平成 27 年度 杉並区環境白書 (資料編)」(平成 27 年 9 月 杉並区)
「平成 29 年度 杉並区環境白書 (資料編)」(平成 29 年 9 月 杉並区)
「平成 26 年度 鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成 27 年 8 月 東京都環境局)
「平成 27 年度 鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成 28 年 8 月 東京都環境局)
「平成 28 年度 鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成 29 年 7 月 東京都環境局)
「平成 29 年度 鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成 30 年 7 月 東京都環境局)
「平成 30 年度 鉄道騒音・振動調査結果報告書」(令和元年 7 月 東京都環境局)

b. 鉄道振動

事業区間周辺における鉄道振動の測定結果は、表 8.1.1-7 に示すとおりである。

平成 27 年度の測定結果は、西武新宿線のコンクリート桁区間において、最寄り軌道中心からの水平距離 12.5m の地点で 47 dB、西武新宿線の平地区間において、最寄り軌道中心からの水平距離 12.5m の地点で 56 dB～57 dB であった。

平成 29 年度の測定結果は、西武新宿線の盛土区間において、最寄り軌道中心からの水平距離 12.5m の地点で 54 dB、西武新宿線の平地区間において、最寄り軌道中心からの水平距離 12.5m の地点で 63 dB であった。

表 8.1.1-7 （参考）在来線の鉄道振動測定結果（平成 26 年度～平成 30 年度）

調査年度	路線名 (線路構造)	測定地点 (用途地域)	最寄り軌道中心 からの水平距離 (m)	ピーク振動レベル (L_{Vmax}) (dB)
平成 27 年度	西武新宿線 (コンクリート桁)	西東京市南町一丁目 1 番地先 (第一種中高層住居専用地域)	12.5	47
	西武新宿線 (平地)	西東京市田無町四丁目 9 番地先 (第一種住居地域)	12.5	56
	西武新宿線 (平地)	杉並区井草二丁目 1 番地先 (第二種中高層住居専用地域)	12.5	57
平成 29 年度	西武新宿線 (盛土)	西東京市南町一丁目 3 番地先 (第一種低層住居専用地域)	12.5	54
	西武新宿線 (平地)	杉並区上井草一丁目 32 番地先 (近隣商業地域)	12.5	63

出典：「平成 27 年度 杉並区環境白書（資料編）」（平成 27 年 9 月 杉並区）
「平成 29 年度 杉並区環境白書（資料編）」（平成 29 年 9 月 杉並区）
「平成 26 年度 鉄道騒音・振動調査結果報告書」（平成 27 年 8 月 東京都環境局）
「平成 27 年度 鉄道騒音・振動調査結果報告書」（平成 28 年 8 月 東京都環境局）
「平成 28 年度 鉄道騒音・振動調査結果報告書」（平成 29 年 7 月 東京都環境局）
「平成 29 年度 鉄道騒音・振動調査結果報告書」（平成 30 年 7 月 東京都環境局）
「平成 30 年度 鉄道騒音・振動調査結果報告書」（令和元年 7 月 東京都環境局）

(イ) 現地調査

a. 環境騒音

環境騒音の調査結果は、表 8.1.1-8 に示すとおりである。

調査結果は、昼間 47 dB～54 dB及び夜間 41 dB～43 dBである。調査結果と環境基準とを比較すると、昼間及び夜間ともに環境基準の基準値を下回っている。

表 8.1.1-8 環境騒音調査結果

調査地点	用途地域	地域の類型	時間区分	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)	環境基準 (dB)
K-1	第一種中高層 住居専用地域	A	昼間	53	55 以下
			夜間	43	45 以下
K-2	第一種低層 住居専用地域	A	昼間	54	55 以下
			夜間	43	45 以下
K-3	第一種低層 住居専用地域	A	昼間	50	55 以下
			夜間	41	45 以下
K-4	第一種低層 住居専用地域	A	昼間	47	55 以下
			夜間	41	45 以下
K-5	第一種低層 住居専用地域	A	昼間	51	55 以下
			夜間	43	45 以下

※1 時間区分：昼間：6～22 時、夜間：22～6 時

※2 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(1) (56 ページ参照) 参照

※3 地域の類型 A：専ら住居の用に供される地域

B：主として住居の用に供される地域

C：相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域

b. 環境振動

環境振動の調査結果は、表 8.1.1-9 に示すとおりである。

調査結果は、昼間 32 dB～51 dB及び夜間 33 dB～52 dBである。調査結果と「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」(平成 12 年東京都条例第 215 号 以下「環境確保条例」という。)に基づく「日常生活等に適用する規制基準」に定める規制基準を比較すると、昼間及び夜間ともに全ての地点で規制基準に適合している。

表 8.1.1-9 環境振動調査結果

調査地点	用途地域	区域区分	時間区分	振動レベル (L_{10}) (dB)	規制基準 (dB)
E-1	第一種中高層 住居専用地域	第 1 種	昼間	51	60
			夜間	52	55
E-2	第一種低層 住居専用地域	第 1 種	昼間	44	60
			夜間	45	55
E-3	第一種低層 住居専用地域	第 1 種	昼間	32	60
			夜間	33	55
E-4	第一種低層 住居専用地域	第 1 種	昼間	45	60
			夜間	46	55
E-5	第一種低層 住居専用地域	第 1 種	昼間	43	60
			夜間	43	55

※ 1 振動レベルの値は、各時間の 80%レンジ上端値 (L_{10}) の最大値である。

※ 2 時間区分 第 1 種区域 昼間：8～19 時、夜間：19 時～8 時

第 2 種区域 昼間：8～20 時、夜間：20 時～8 時

※ 3 表中の調査地点は、図 8.1.1-1 (2) (57 ページ参照) 参照

※ 4 第 1 種：第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、無指定地域(第二種区域に該当する区域を除く。)

第 2 種：近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域、前各号に掲げる地域に接する地先及び水面

c. 鉄道騒音

鉄道騒音の調査結果は、表 8.1.1-10 に示すとおりである。

表 8.1.1-10(1) 鉄道騒音調査結果 (R-1 地点)

R- 1	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)										
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	6. 32m		12. 57m		18. 07m		50. 07m		100. 07m	
	計画線	6. 25m		12. 5m		18. 0m		50. 0m		100. 0m	
時間区分		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上高さ	1. 2m	75	70	71	67	67	63	58	54	50	46

※1 時間区分 昼間：7～22 時、夜間：22 時～7 時

※2 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(1) (56 ページ参照)

※3 計画線最寄り軌道中心から 25.0m 地点は 18.0m で測定した。

表 8.1.1-10(2) 鉄道騒音調査結果 (R-2 地点)

R-2	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)										
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	7.62m		16.77m		21.37m		51.37m		101.37m	
	計画線	6.25m		15.4m		20.0m		50.0m		100.0m	
時間区分		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上高さ	1.2m	67	63	63	59	56	52	52	48	44	40

※1 時間区分 昼間：7～22 時、夜間：22 時～7 時

※2 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(1) (56 ページ参照)

※3 計画線最寄り軌道中心から 12.5m 地点は 15.4m で測定、計画線最寄り軌道中心から 25.0m 地点は 20.0m で測定した。

表 8.1.1-10(3) 鉄道騒音調査結果 (R-3 地点)

R-3	等価騒音レベル（ L_{Aeq} ）（dB）										
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	6.41m		12.66m		25.16m		50.16m		100.16m	
	計画線	6.25m		12.5m		25.0m		50.0m		100.0m	
時間区分		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上高さ	1.2m	69	65	63	58	57	53	49	45	43	38

※1 時間区分 昼間：7～22 時、夜間：22 時～7 時

※2 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(1) (56 ページ参照)

表 8.1.1-10(4) 鉄道騒音調査結果 (R-4 地点)

R-4	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)										
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	11.16m		17.41m		29.91m		54.91m		99.91m	
	計画線	6.25m		12.5m		25.0m		50.0m		95.0m	
時間区分		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上高さ	1.2m	67	63	64	60	60	56	54	50	46	42

※1 時間区分 昼間：7～22 時、夜間：22 時～7 時

※2 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(1) (56 ページ参照)

※3 計画線最寄り軌道中心から 100.0m 地点は 95.0m で測定した。

表 8.1.1-10(5) 鉄道騒音調査結果 (R-5 地点)

R-5	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)										
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	6.36m		12.61m		26.91m		50.11m		100.11m	
	計画線	6.25m		12.5m		26.8m		50.0m		100.0m	
時間区分		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上高さ	1.2m	72	68	69	64	61	56	54	50	44	40

※1 時間区分 昼間：7～22 時、夜間：22 時～7 時

※2 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(1) (56 ページ参照)

※3 計画線最寄り軌道中心から 25.0m 地点は 26.8m で測定した。

表 8.1.1-10(6) 鉄道騒音調査結果 (R-6 地点)

R-6	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)										
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	6.04m		12.29m		24.79m		49.79m		94.79m	
	計画線	6.25m		12.5m		25.0m		50.0m		95.0m	
時間区分		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上高さ	1.2m	73	69	69	65	64	59	57	52	50	46

※1 時間区分 昼間：7～22 時、夜間：22 時～7 時

※2 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(1) (56 ページ参照)

※3 計画線最寄り軌道中心から 100.0m 地点は 95.0m で測定した。

表 8.1.1-10(7) 鉄道騒音調査結果 (R-7 地点)

R-7	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)										
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	6.41m		12.66m		25.16m		50.16m		89.06m	
	計画線	6.25m		12.5m		25.0m		50.0m		88.9m	
時間区分		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上高さ	1.2m	74	70	69	64	62	58	56	52	52	48

※1 時間区分 昼間：7～22 時、夜間：22 時～7 時

※2 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(1) (56 ページ参照)

※3 計画線最寄り軌道中心から 100.0m 地点は 88.9m で測定した。

表 8.1.1-10(8) 鉄道騒音調査結果 (R-8 地点)

R-8	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)										
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	6.29m		12.54m		27.04m		50.04m		100.04m	
	計画線	6.25m		12.5m		27.0m		50.0m		100.0m	
時間区分		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上高さ	1.2m	68	64	68	63	64	60	59	54	46	42

※1 時間区分 昼間：7～22 時、夜間：22 時～7 時

※2 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(1) (56 ページ参照)

※3 計画線最寄り軌道中心から 25.0m 地点は 27.0m で測定した。

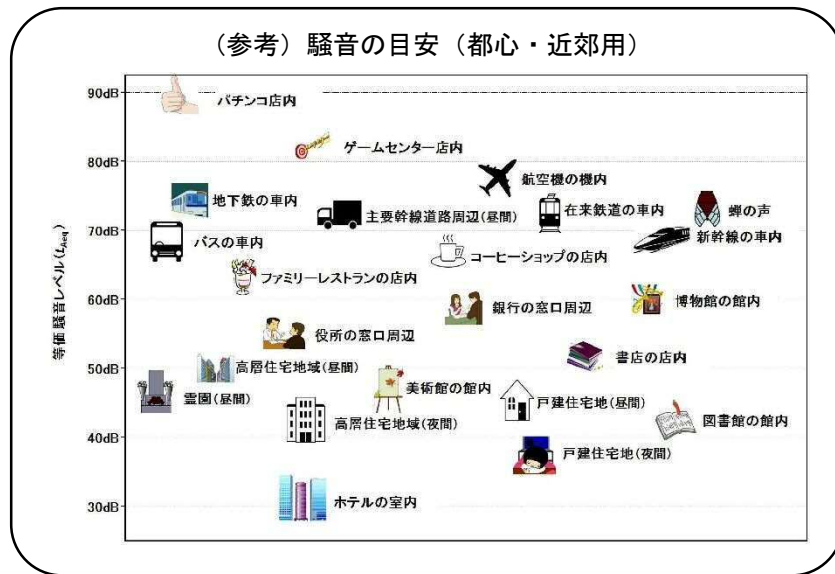
表 8.1.1-10(9) 鉄道騒音調査結果 (R-9 地点)

R-9	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)										
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	7.73m		12.23m		24.73m		49.73m		91.73m	
	計画線	8.0m		12.5m		25.0m		50.0m		92.0m	
時間区分		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上高さ	1.2m	71	67	71	67	66	62	58	53	51	47

※1 時間区分 昼間：7～22 時、夜間：22 時～7 時

※2 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(1) (56 ページ参照)

※3 計画線最寄り軌道中心から 6.25m 地点は 8.0m で測定、計画線最寄り軌道中心から 100.0m 地点は 92.0m で測定した。



出典：全国環境研協議会 騒音調査小委員会 (令和元年 10 月 環境省ウェブサイト)

d. 鉄道振動

鉄道振動の調査結果は、表 8.1.1-11 に示すとおりである。

表 8.1.1-11(1) 鉄道振動調査結果 (V-1 地点)

ピーク振動レベル (L_{Vmax}) (dB)					
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	6.32m	12.57m	18.07m	50.07m
	計画線	6.25m	12.5m	18.0m	50.0m
V-1		68	65	65	50

※1 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(2) (57 ページ参照)

※2 計画線最寄り軌道中心から 25.0m 地点は 18.0m で測定した。

表 8.1.1-11(2) 鉄道振動調査結果 (V-2 地点)

ピーク振動レベル (L_{Vmax}) (dB)					
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	7.62m	16.77m	21.37m	51.37m
	計画線	6.25m	15.4m	20.0m	50.0m
V-2		62	61	55	53

※1 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(2) (57 ページ参照)

※2 計画線最寄り軌道中心から 12.5m 地点は 15.4m で測定、計画線最寄り軌道中心から 25.0m 地点は 20.0m で測定した。

表 8.1.1-11(3) 鉄道振動調査結果 (V-3 地点)

ピーク振動レベル (L_{Vmax}) (dB)					
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	6.41m	12.66m	25.16m	50.16m
	計画線	6.25m	12.5m	25.0m	50.0m
V-3		61	59	58	52

※1 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(2) (57 ページ参照)

表 8.1.1-11(4) 鉄道振動調査結果 (V-4 地点)

ピーク振動レベル (L_{Vmax}) (dB)					
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	11.16m	17.41m	29.91m	54.91m
	計画線	6.25m	12.5m	25.0m	50.0m
V-4		60	57	54	49

※1 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(2) (57 ページ参照)

表 8.1.1-11(5) 鉄道振動調査結果 (V-5 地点)

ピーク振動レベル (L_{Vmax}) (dB)					
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	6.36m	12.61m	26.91m	50.11m
	計画線	6.25m	12.5m	26.8m	50.0m
V-5		68	57	57	51

※1 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(2) (57 ページ参照)

※2 計画線最寄り軌道中心から 25.0m 地点は 26.8m で測定した。

表 8.1.1-11(6) 鉄道振動調査結果 (V-6 地点)

ピーク振動レベル (L_{Vmax}) (dB)					
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	6.04m	12.29m	24.79m	49.79m
	計画線	6.25m	12.5m	25.0m	50.0m
V-6		71	59	(44)	(35)

※1 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(2) (57 ページ参照)

※2 12.5mと25mの間に河川があり、振動の伝搬が異なるため、25m以降の結果を参考値とした。

表 8.1.1-11(7) 鉄道振動調査結果 (V-7 地点)

ピーク振動レベル (L_{Vmax}) (dB)					
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	6.41m	12.66m	25.16m	50.16m
	計画線	6.25m	12.5m	25.0m	50.0m
V-7		65	60	56	46

※1 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(2) (57 ページ参照)

表 8.1.1-11(8) 鉄道振動調査結果 (V-8 地点)

ピーク振動レベル (L_{Vmax}) (dB)					
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	6.29m	12.54m	27.04m	50.04m
	計画線	6.25m	12.5m	27.0m	50.0m
V-8		71	58	49	47

※1 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(2) (57 ページ参照)

※2 計画線最寄り軌道中心から 25.0m 地点は 27.0m で測定した。

表 8.1.1-11(9) 鉄道振動調査結果 (V-9 地点)

ピーク振動レベル (L_{Vmax}) (dB)					
最寄り軌道 中心からの 水平距離	現在線	7.73m	12.23m	24.73m	49.73m
	計画線	8.0m	12.5m	25.0m	50.0m
V-9		56	54	51	49

※1 表中の調査地点は、図 8.1.1-1(2) (57 ページ参照)

※2 計画線最寄り軌道中心から 6.25m 地点は 8.0m で測定した。

(参考) 振動の大きさの目安

振動レベル (dB)	大きさの目安
70	大勢の人に感じる程度で、戸、障子がわずかに動く
60	静止している人だけ感じる
50	人体に感じない程度

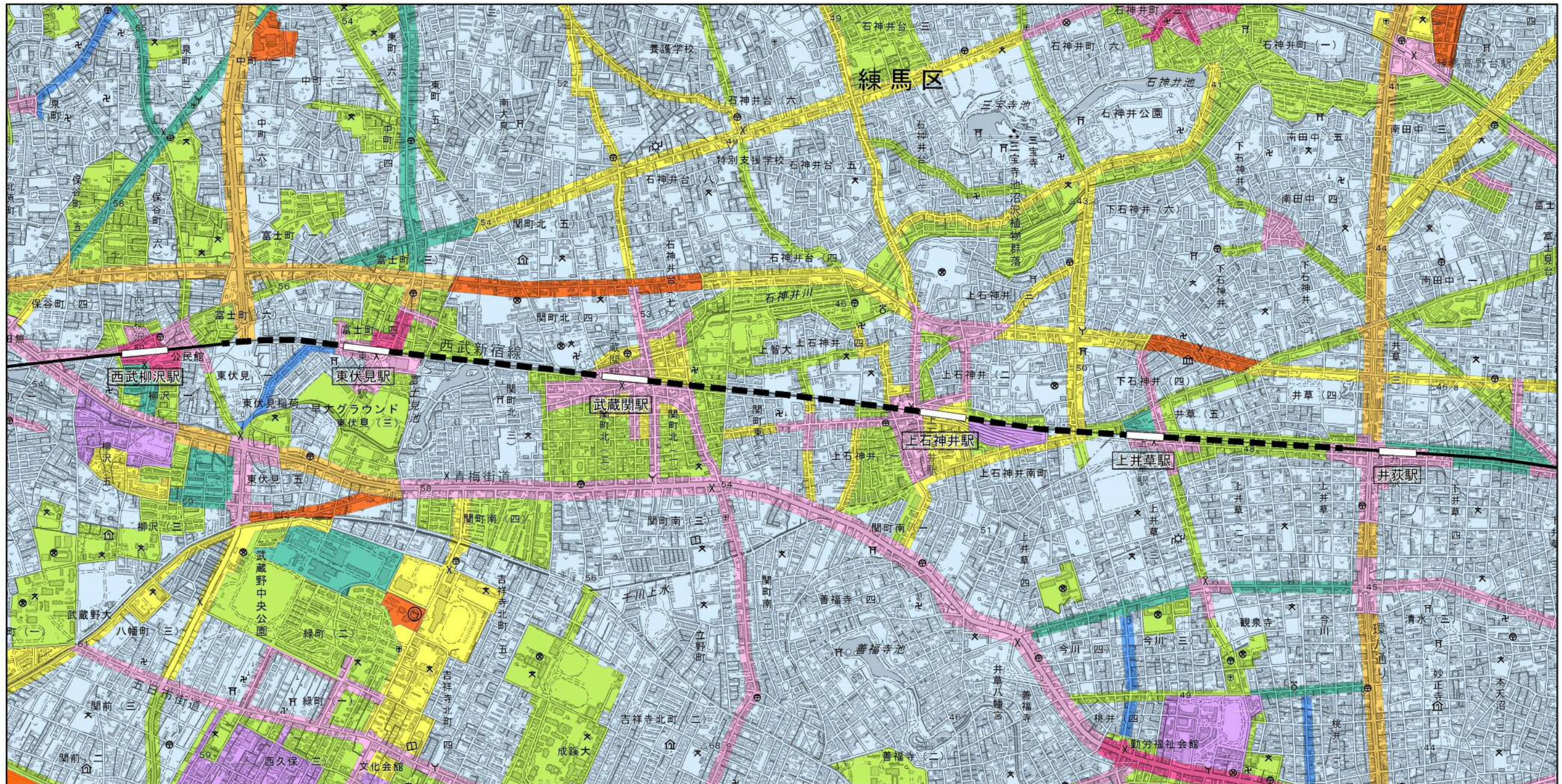
出典：東京都環境局資料

イ 土地利用の状況

事業区間周辺の用途地域の状況は、図 8.1.1-2 に、事業区間周辺の土地利用の状況は、図 8.1.1-3 に、学校・医療機関等の公共施設の分布状況は表 8.1.1-12 及び図 8.1.1-4 に示すとおりである。

事業区間の各駅周辺は商業地域又は近隣商業地域に指定されており、その他の地域は主に、第一種低層住居専用地域又は第一種中高層住居専用地域に指定されている。

また、事業区間周辺には、幼稚園が 5 施設、小学校が 7 施設、中学校が 5 施設、高等学校が 3 施設、短大・大学・その他が 2 施設、保育施設（認可保育園）が 19 施設、認証保育所が 4 施設、福祉施設が 38 施設、図書館が 2 施設、医療施設が 2 施設、都市公園が 31 施設設置されている。



凡例

- 駅
- 事業区間
- 現在線
- 区市界

- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域

出典：「杉並区都市計画図」（平成31年4月 杉並区）
「練馬区都市計画図」（平成31年4月 練馬区）
「西東京都市計画図（平成31年4月現在）」（令和元年10月 西東京市ウェブサイト）
「武蔵野都市計画図（平成29年1月現在）」（令和元年10月 武蔵野市ウェブサイト）

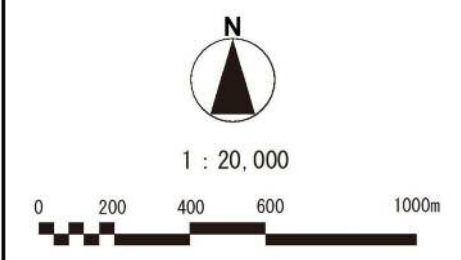


図 8.1.1-2 用途地域図